

科目分類	専門基礎分野	学 年	1 年	担当教員の氏名・職名
授 業 科 目 名	基礎薬理学	学 期	後 期	西園 憲郎 (薬剤師)
		単 位 数	1	
		時 間 数	20	
目 的 (ねらい)	薬物療法と看護を理解するために、薬物の特徴・作用機序・生体に及ぼす影響等薬理学の基礎知識について学ぶ。			
目 標	1. 薬物の人体における作用と動態について理解する。 2. 病態に応じて使用する薬剤の機序を理解する。			
授 業 計 画	回数	単元項目	内 容	授 業 形 態
	1	医薬品総論	・ 医薬品の分類、医薬品の作用とその影響	
	2	主な生活習慣病に使用する薬	・ 生活習慣病、高血圧、糖尿病治療薬 脂質異常症、動脈硬化	
	3	生活習慣病に随伴する循環器 障害と薬物療法、脳血管障害	・ 不整脈、狭心症、心不全、心筋梗塞 ・ 脳血管障害に使用する薬	
	4	がん・痛みに使用する薬	・ がんの薬物療法に使用する薬 ・ がん性疼痛に使用する薬、	
	5	脳・中枢神経系疾患で使用する薬	・ 抗てんかん薬、パーキンソン病治療薬	
	6	精神疾患、 感染症に使用する薬	・ アルツハイマー型認知症治療薬等 ・ 抗精神病薬、うつ病、抗不安薬、睡眠剤 ・ 細菌感染症	
	7	救命救急時に使用する薬 〃	・ 抗菌薬の作用としくみ ・ 消毒剤、救急薬品について ・ 急性中毒に対する薬物療法 ・ 麻酔時に使用する薬	
	8	アレルギー・免疫不全状態の 患者に使用する薬	・ 呼吸器疾患に用いる薬 ・ 非ステロイド系炎症薬	
	9	消化器系疾患に使用する薬 その他の症状に使用する薬	・ 消化性潰瘍治療薬 (1) 代謝機能障害 (2) 内分泌障害	
	10	その他の症状に使用する薬	(3) 血液・造血器障害 (4) 腎機能障害 (5) 運動機能障害 (6) 性・生殖機能障害、泌尿器 (7) 皮膚障害 (8) 視覚障害 (9) 痛みに使用する薬 (10) 水分・電解質・カロリー不足	
教 科 書	ナーシング・グラフィカ 疾病の成り立ち② 臨床薬理学 (メディカ出版)			
参 考 文 献				
評 価 方 法	定期試験 100%			
関 連 科 目	臨床薬理学演習 解剖生理学Ⅰ・Ⅱ 病態生理学 臨床病態論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 看 護学			
自 己 学 習 に 関 する 指 針	授業終了時の翌週にミニテストを実施し授業習得状況を把握する。			
そ の 他 の 通 知 事 項	随時質問に応じます。			